

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-138)、
廃棄物管理施設(113)、MOX 燃料加工施設(2-92))」

2. 日時: 令和6年1月12日(金) 10時00分~11時45分

3. 場所: 原子力規制庁 10階会議室 (TV 会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審
査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専
門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他6名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年1月11
日提出資料に基づき、今後の進め方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・具体的な設備等の設計の説明については、代表性の考え方、設計基準対象
施設と重大事故等対象設備の設計の類似性、構造設計と解析・評価との関
係性を整理して着実に説明が進められるよう計画を立てる。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和6年1月11日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する

る資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、よくお願いしました。
0:00:03	規制庁なのでそれではただいまから日本原燃株式会社とヒアリングを開始いたします。本日のヒアリングは令和4年12月29日に申請があった。
0:00:11	最初に、曜日張りつけ、
0:00:13	工認申請、令和5年2月28日付の目的の設工認申請について昨日1月11日提出の各資料をもとに、技術確認を行うものです。
0:00:24	まず規制庁側の出席者なのですが、ハバサキキシノの
0:00:29	フジワラコサクアライのWebからカミデヨコヤマヤマグチオオオカオオハシです。
0:00:38	それでは日本原燃から出席者の紹介と資料の紹介をお願いいたします。
0:00:44	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:47	日本原燃側の出席者紹介いたします。スペアリングチームより、
0:00:52	ケットク、
0:00:54	ハセガワ、
0:00:55	イシカワ、
0:00:57	ノモト、
0:00:58	イシグロ、
0:00:59	タカヤ、
0:01:00	イシハラ、
0:01:02	WEBから六ヶ所よりMOXに再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:08	本日も確認いただきます資料でございますけど、先ほどご紹介がありました。昨日ご提出差し上げました。今後の進め方について、ご確認いただきたいと思います。
0:01:19	それでは説明の方開始よろしく願いいたします。
0:01:23	はい、与儀西原でございます。それでは、
0:01:31	はい。
0:01:32	進め方昨日提出させていただいて、まずは、2ポツの次回審査会合の説明事項でございますが、
0:01:41	スポーツ関係、地盤関係のやつが、今下線で追加したものも含めて、
0:01:47	書いて、

0:01:48	思います。2 ポツの具体的なテレビ等の設計の方は、前回の進め方で、 どういう優先順位でかつ、当社の年末にちょっとバタバタしましたんで、 バッファーを含めて、
0:02:01	ボックス説明グループ 1 に関係する解析。
0:02:09	その後はそれぞれ必要なものがまだ残ってますので順次説明していく。
0:02:14	説明をさせていただき、
0:02:16	出ます。
0:02:17	3 ポツでございますが、3 ポツ 1、特に共通 12 の再処理側の進め方で すけども前回一つ目のポツの文章を変えてですね、
0:02:28	共通に作成に移行していきますよというご説明をしてます。
0:02:34	あと一つ課題になったのが代表の考え方ということで、相変わらず、 去年のマツダしたやつもディー・ディー・エスで別々に考えてるパターン になったので、全体統合してどう考えていくかという整理をし、
0:02:47	あと設計、各DB側とかSAも含めてやった停止位置の整理で、項目ごと にちゃんと説明しなきゃいけないことを考えてですね。
0:02:58	それとあと網羅できるものないようにする、エボラできなければ当然必 要なものを出していくということで考えていきたいというふうに思ってます そういった考え方を、17 日提出させていただいて、説明、項目ごとにど ういったものを代表にするかって資料 3 のアウトプットに繋がるような、
0:03:14	代表も、全部整理して、
0:03:17	提出をさせていただきたいと思ってます。20 日にヒアリングと。
0:03:21	ということで、
0:03:23	DBとSAの設計項目の整理という作成イメージ、なかなかこれもです ね、
0:03:29	別紙、別添 1 の別紙時、別紙につけてますけども、
0:03:33	簡単にできるとは思ったんですがなかなか、布教活動がうまく生かすてこ ずっというところがございますけどこういったこともちゃんとやって、
0:03:40	全体整理していきたいと思ってます。
0:03:43	はい。2 枚目の方の、
0:03:47	説明グループMOXの方の 2-2 の解析用カトウ
0:03:52	年末ちょっと無駄な状態でやらせていただきましたけれども、それも踏 まえて修正した方、本日させていただいて、来週ヒアリングということあ とは、24 日、
0:04:02	提出ということに十時つなげていきたいと。
0:04:04	前回 1 月の中旬に出す時にですね、も最初の評価項目も全部合わせ て提出をするということでお約束してたんですが、

0:04:14	これもすいませんこちらの年末のバタバタ加減で、ちょっと遅れてますということで 24 の提出に何とか間に合わせたい。
0:04:23	てます。
0:04:24	あと※を打ってますがこれスケジュールでも、
0:04:28	ランナーの構造設計と解析評価がダブルでかんできて、どういった人たちと説明してるかがよくわからなくなってきたところもあったので、
0:04:36	ちょっと単純ではありますけど今、一番後ろに別添 1 でもいいですね、MOXの説明グループ、工場と評価ってどういう関係なのっていうのを整理させていただきましたが、
0:04:46	やはり説明グループ 1 と言っても何を言ってるかがわからないところもあるので、括弧構造とかかっこ評価とかを出して、
0:04:54	今日ソヤ出せば補足もどこのところに関連するかがわかると思うので、そこ全体整理して、何を説明したいかがわかり、
0:05:02	いきたいと思っておりますというところでございます。
0:05:05	3 ポツ 2 の耐震関係でございます。
0:05:09	で、黒丸一つ目のところで、当面、ご提議して、江藤平賀でご確認いただく項目の①と②、これも前回の審査会合の今後の検討事項と言っていたところのうちの、
0:05:24	データの整備と分析結果それからその取得データに基づく引間の特徴をとらえた企画構造整備のところでございますけども、これのアノを今、今後進めていくといえますかアノを継続に進めていく。
0:05:39	分析の内容、これちょっと前回とですね内容は基本的に変わってございません。ちょっとわかりにくいといえますか整理の悪い記載になっていたのを、ちょっと今回、整理をちゃんともう再整備していきたいというところでございます。
0:05:55	で、この中身につきましてですね、この減衰とそれから表層部性の検討の出来高カーとコメント回答の部分というのを先日、1 月 10 日に、
0:06:09	1 度ヒアリングでご確認いただいているところございまして、かなりできる中でまだできてないところがございましたけれども残りの部分ですね。
0:06:19	この岩盤物性ナンバー非線形も含めて、これすべて
0:06:25	検討すべきものを封印したもので、1 月 18 日資料ご提出予定というのは変わってございません。
0:06:33	で、ここです、1 月 10 日ヒアリングでもちょっと一部申し上げたんですけども C ポツ岩盤部減衰のトップのがフィックアオキた減衰定数の測定結果、

0:06:44	これデータ今取得済みでございますとちょっとデータ眺めたところ、少しかなり大きな数値構えられてるということでこれ専門家の
0:06:56	方々といいますか専門家でありますこの杉野アノ電中研さんにちょっと相談する予定を来週の頭にしてございましてちょっとご相談によってご相談の
0:07:08	結果も踏まえながら、このデータが
0:07:12	大きいんだけどもこれで受けとめるべきものなのかちょっと信頼を、がちよっと置けないデータというふうに見るべきなのかといったような解釈も含めてちょっとご相談予定でございます。ちょっとそこで、
0:07:23	少し追加で検討すべきということになれば、少しここにですね 18 日にはちよっと追って御説明予定、追ってまた、
0:07:33	検討結果を提出予定という形になる可能性がちよっとございますけれどもちよっとその状況はまた随時、お知らせして参りたいというふうに考えてございます。
0:07:44	ご説明以上でございます。
0:07:48	はい。
0:07:49	あとは、別添 1 というのをつけておまして、3 ページはいつも書いて、
0:07:55	10 ページに、これ自体を風になくしてしまって今、権田春日くんにかかっていう。
0:08:03	困ったので、
0:08:04	現状これ、再処理廃棄物管理に特化しちゃってますが、代表選定の方はMOXも含めて全体を考えなきゃいけないので一番右側、再処理廃棄物特有ということはないですが、
0:08:17	説明グループの整理前回の審査会合でもいろいろご指摘いただいて、反映しないといけない部分もありますので 2 以降のグループに対する説明、すべき項目とかの整理、
0:08:29	含めて、手当をしないといけないというふうには思ってます。採用するチーム、タスクとあとは設計項目を
0:08:39	リリースに合わせて全体どう見ていくかという作業をするのが真ん中の応援児童枠、
0:08:45	あと代表の話の、ガイドへの反映というのが一番右側の話でございます。
0:08:51	衛藤。
0:08:52	基本は、共通要因の資料 23 を作り込んでいくという作業をするということなんですけどもその手前で幾つか、

0:09:00	点線部分で、あれとしては中間的な作成資料は作った上で順次展開していこうかなと思っているところです。一つを受けたのは援助のところに書いてある下から2番目の四角ですね、DBSAの設計項目の整理、
0:09:15	これ先ほど申し上げた通り、SAで大分整理してきたので、合体していけばうまくいくのかなと思ったんですけど、なかなかそれが今うまくいってないという
0:09:25	これを先ほどサンプルで、火山の前半部分つけてますけど、17日提出22フェアというのをやる、やるかどうかってところはもうちょっと採用しながら見極めたいなと思ってます。
0:09:37	その話なんですけど、
0:09:41	5ページ以降のやつを比較しただけなんです。
0:09:44	何を、作業として、
0:09:48	ムタぐらいになってるかというところではいきますと、
0:09:51	アサノ別紙として次でいうのが8ページから流れているんですけど、
0:09:57	例えば9ページに火山11ってのがあってですね。
0:10:02	構造物、構造物へ向けて期間って、
0:10:05	これ
0:10:06	リーガーでは黒字で書いてある通りの、太字で重大事故書いてますけど太字以外のところは、SDで書いてるところ。
0:10:14	ここの基本設計方針2SAで、
0:10:18	飛ばしてあったときのリンクですね。
0:10:21	操作性とか、接続の話とかですねあとアクセスルートの話とかいろんなものを捲っていると、いうことで、
0:10:29	やりたいことは、単純に言えば、建屋なんかいうことで守りますっていうのがここの答えなんですけど。
0:10:36	なかなか作業側がですねそれをそのゴール、あまり意識しなくてやると。
0:10:41	SAで操作性とかに書いてある基本設計方針の要求事項を、
0:10:45	そのままここにあると。
0:10:47	いうことになると、何をやってんだかよくわかんなくなるっていう今状態になってたのが、年始早々の状態ですって。
0:10:54	ちょっとなぜそんなことになるかっていうのを、よく考えて、
0:10:59	それぞれの作業チームをバラバラに動かしてもしょうがないので、ジョイントして、どういうことをやるべきかっていう認識と、
0:11:06	あとはSAで降るときに、
0:11:08	いろんなせ、基本設計方針にDBに振るんですけど、

0:11:11	どの内容をどこに振りたいのかっていうのをちゃんと分割をして整理をして、振る先まで考えるっていうことをやってですね、やると多分この日ジョイントが綺麗にいくのかなと思ってて、
0:11:22	その作業今やらしているところです。
0:11:24	でないと多分、さっき申し上げたように、赤字を受けたって終わりみたいな、わけのわから表ができ上がってしまうので、そういうことはさせたいと思ってる。
0:11:34	今、すいません、大分パッチ当てみたいに、
0:11:38	常勤設定においては、ベースの、
0:11:41	悪影響防止とか、健全性の確保操作精度確保と建物修理部分達成することを含むって書いてますけど、これが何を指しているかをうたって丁寧書いて、飛ばし合うということをやらないといけないという認識。
0:11:55	それをやれば、そんなに難しい話ではないかなと思ってるんですけど、なかなかその作業で今手間取っっていうのが現状。
0:12:03	その答えはわかってる人が1人しかいないっていうのが問題なのかもしれませんが、あ、はい。そういう状況でございますんで、
0:12:10	イワイ11ページみたいに赤字で書かなきゃいけないものを赤字で出していくっていうので、それを、に対してタツノかっていうのを、担当認識をして、
0:12:21	追加要件を明確にするということ。
0:12:23	かなと思ってます。
0:12:25	はい。
0:12:27	こういった作業が、これが何かというとこれが先ほどの
0:12:32	4ページのゆ、
0:12:35	オレンジの枠の下から2番目のBSについて基本
0:12:39	というところになります。
0:12:43	個人的には、
0:12:45	次を提出しありえなくてもできるかなと思ってるんですけど、今後ちょっと状況を見て、また判断させていただきたいなというような認識、今の実績でございます。
0:12:54	はい。
0:12:59	あとさ、最後にスケジュールをつけてますが、
0:13:05	先ほどあった、例えば10人というところで説明グループ1括弧どうかみたいなですね行動的構造設計なのか、評価の話なのか。
0:13:16	というのは整理をして、明確になるようにしたいということで作業を進めてます。ただそれも、

0:13:23	住民になる、出す個別補足って書いてあるものがあんまり細かく書かないほうがいいのかなっていう気もしますけど、閉じ込め 02 とか搬送 01 ってのは、構造設計にもかかるし、解析評価にもかかるので、
0:13:36	ここで全体出すってことは、評価だけなのかってそういう意味でもない、ないところもあってですね、こういうのがちゃんとわかるように、補足説明資料のリストとかリンクも含めて、どう整理していくかっていうのは、
0:13:48	まだちょっと工夫の余地があると思ってます。
0:13:51	はい。
0:13:52	あと、出してるのは、
0:13:56	先ほど、
0:13:57	あった 17 日 22 年やつは状況を見ながらまた判断させていただきたいという話と、
0:14:03	24 日に安全指標等評価のヒライアノ。
0:14:07	ミナカワ。
0:14:08	をさせていただいてると。
0:14:13	あとは、
0:14:17	IIIASが、もともと前回もですね 31 日に、
0:14:23	で、
0:14:24	SSSとかあと設計プロセスの話、設計部の説明、話は一応、今回、今日出して、17 ページ。
0:14:32	営業的には 2 日ずれてますけど、いつもこの面談シリーズ、資料提出から面談までの日数が短いので、ちょっと資料のボリュームも含めてここはまたちょっと調整をさせていただいて、
0:14:46	VSもあの資料のボリュームに応じて、蒲池、ずっと前に出せるのかとか、調整も含めてやっていただこうかと思っています。はい。
0:14:57	年代になったり中に 1 週間行事がない。
0:15:00	ちょっと再清掃はないですので、ちょっとそこは交通整理をさせていただきたい。
0:15:05	思ってます。はい。説明は以上。
0:15:11	ありがとうございます。先ほどお話。
0:15:14	よろしくお願いします。
0:15:17	補足です。
0:15:19	開けました。
0:15:22	エーットー
0:15:23	めでたいかどうかわかんないんですけど、
0:15:28	年末は大分大変。
0:15:33	状況、今はどうですか、皆さん回復され、

0:15:36	です。
0:15:39	大丈夫。
0:15:46	よどんでいるか。
0:15:48	うん。
0:15:50	なんですかね。
0:15:52	すぐ。
0:15:53	すべての状況としてまず、会長が第1、
0:15:58	体調すぐれないと仕事の質も絶対落ちるので、そこで無理してもいいことがないと。
0:16:04	だから、
0:16:05	体調の管理ができるような業務体系にしていただけたらいい。
0:16:13	その次2、仕事の内容として整理ができてないと、気分が張れないと。
0:16:21	ということでそれもまた体調に影響してくるような感じになるので、
0:16:25	そちらの方も一応昨年の12月の会合である程度体系ができてきて、これから積み上げていくというフェーズになりましたかねというふうにお話しましたが、
0:16:38	今日の話だと少し、それがぶれちゃってきていると。
0:16:44	いう部分もあるようなので、改めて再確認をですね、着実にステップを踏めるような、ということ、まず、今度1月にですね、足固めをしていただきたいと。
0:16:56	いうふうに思います。
0:16:58	それ、その一つが多分、今日も少し話をいただいた代表性の話。
0:17:06	で、
0:17:07	17ページの22日ということ。
0:17:13	ちょっと時間はかかっているのかなあという気はするんですけど、無理に、
0:17:21	焦らせてやってもしょうがないところありますから、しっかりと話ができ、これこそちゃんと一人一人がですね、認識をとって、
0:17:34	説明し切れているのかどうかと。
0:17:36	ということ。
0:17:38	もし不安な部分があったらちゃんとSteeringチームに相談をして、拾い上げて、しっかりと説明していくと。
0:17:46	ということで一体となってやっていかないと、どっかで必ずでしょ。
0:17:52	黙ってる人結構便利な人が多いと思って。
0:17:54	そういうことがないようにしていただければな。
0:18:00	ええ。
0:18:01	それで、

0:18:03	ちょっと
0:18:05	いろいろと確認したいことは担当からもあると思うんですけど、
0:18:10	と順を追って、大枠から順々にと。
0:18:14	思ってます。
0:18:19	まず、資料だと一番最初に戻って、
0:18:25	1 ポツのところは修正なくてこれ前、本当の全体像みたいな感じなので直しようがない部分だと思うんですけど。
0:18:40	次、
0:18:41	特に再処理の方で言えば、最初のポツの1ポツが終わらないと、2-12-2と進んでいく、そもそもその耐震設計って全部にかかるので、
0:18:52	なかなか入っていきづらい。
0:18:56	ところは有井ですが、これまでもお話してるように2-1っていうのは実際の数字は決まらなくても、
0:19:04	構造としての検討はすでにしてあるわけだし、説明することはできるでしょう。
0:19:12	いうことだし2-2の方も、評価方法なり何なりっていうのは変わらない。
0:19:17	条件が変わっていただけと言う事なんで、それも準備はしていけるでしょうと、いうことなので、速攻を踏まえつつ、どう進めていくかと。
0:19:28	いうことをお話いただく必要があるのかなと。
0:19:31	いうふうに思ってます。
0:19:34	具体は今日だと5ページぐらいでしたっけ。
0:19:39	のところから氷河で入ってますのでその辺りで、
0:19:44	確認していければと思うんですけど、この表の時にも、
0:19:51	目次の方は第2回というだけじゃなくてコウ次回も含めて、関係性を、
0:19:58	話をするようにということがあって、
0:20:01	部分的に
0:20:05	影響評価なんかは、第二段階でとかって書いてあるんですけど、
0:20:10	代表性の議論まで含めると、これではとても説明しきれないんだろうな。
0:20:15	いうふうに思っているんですがそのあたりはあれですかね、その17資料提示の代表性のところ、
0:20:25	考えていくっていうことでもいいんですかね。はい。うん。
0:20:28	はい。そうですね。それはどちらかというと、形状とか構造とか機能に着目して設備グループ分けているので、その分、同類のものが第3回になりますよねということで、かつ、

0:20:43	関係の負圧みたいに第3回のも含めて全体評価しないといけないんですよっていうのもあったり、そういうのが、その関係性がわかるようにはしていかないといけないと思ってます。その整理をさせていただきます。
0:20:56	規制庁コサクです。それ、
0:21:00	2ポツの会合ですけど、
0:21:03	まず次回については先ほどお話あったところで、MOXの、まず第1弾の解析評価。
0:21:14	どの伝レベルまでやっていきたいっていうこと。
0:21:18	はい。
0:21:22	麻生。
0:21:23	はい。学生起業家としての形をまずちゃんとその再処理も含めて作っていかないといけないところだと思ってるんで、
0:21:33	あとは入口はこないだやったんですよね。
0:21:38	その入口をやったものが説明グループ1に関係する他の風量設定とかだと。
0:21:49	やらないと。
0:21:52	はい。コサクです。今お気づきいただいたようにですね、どういうことでやっていくかっていう話はもう終わっているんで、具体的にしっかりと説明いただくというフェーズになってると思ってるんです。
0:22:06	そうする等、前はシャンプー的なところだったのであまり細かくは話をされ、
0:22:13	なかったし、
0:22:15	込みもしなかったと、いうことなんですけど。
0:22:17	やるのであれば、その内容についてしっかりと説明いただく必要がある。
0:22:23	いうことだと思うので、補足説明資料も含めてですね、話をさせていただく。
0:22:29	だろう。
0:22:31	と思ってます。
0:22:33	で、そのときに、やはり代表性の話を入口してもらわないと、
0:22:39	どの範囲までの話として聞いたことにするのかと。
0:22:44	いう。
0:22:45	呉のですね、認識が合っていないとまた後々バタつくので、そこも含めてや、
0:22:53	て欲しいと。
0:22:55	いう。

0:22:55	ことになると、先ほどの 1722 というスケジュールが結構タイトに提供してくると。
0:23:03	ということなので、その点は意識して、
0:23:08	しっかりとまとめていただきたいと思います。
0:23:12	いう
0:23:16	ことなんですけど、その
0:23:18	次回やるその解析評価ってなあについていう。
0:23:22	ウノがいまいちなんかわかったようでわかってなくてですね。
0:23:28	ちょっと後ろの細かいほう見ざるをえないかなと思うんですけど。
0:23:32	5 ページからの表を見るとですね、説明グループ、括弧評価、
0:23:40	書いているのは、
0:23:42	5 条、26 条、六条 27 条、
0:23:46	いうところと、
0:23:50	16 条の搬送、
0:23:56	23 条の喚起となっていて、
0:23:59	先ほどお話されたような関係の部分、
0:24:04	話ですよ。
0:24:05	搬送はっていうのと、
0:24:10	相馬タダ伴層も、
0:24:12	単品ではあるんで、そんなに、
0:24:16	難しくはない。
0:24:18	とは思うんですね。
0:24:21	搬送元もあれですね、第 2 回だけじゃない。
0:24:25	東條ジンボ。
0:24:27	ていただいた上でどの範囲の説明が、
0:24:30	いうことを言っていたら、
0:24:32	関係は先ほどお話あったように、後続との関係だったり
0:24:38	前倒して条件になるところだった
0:24:40	という、
0:24:42	ということなのでいいと思うんですけど。
0:24:44	この辺りはそういうのを、関係を説明した上で一通り話をするということ でいいですか。はい。
0:24:51	はい、三森でございます。はい。はい。
0:24:54	古作ですので、そこはそうだろうと思うんですけど。
0:24:57	先ほど少し触れた耐震はどうするつもりですか。
0:25:00	はい。

0:25:02	大事
0:25:03	来週現状面倒くさいなと思って、正直ですね。はい。
0:25:07	この間も、26にやった時にこれ難波代表だと言って言ったような話を、質問、また受けて、
0:25:15	全た第3回も含めてどんな機器して、それに対してどういう代表の話を考えてるのかと、いうことを整理をした上で、
0:25:29	今日出す資料かも含めて説明しないといけないと思ってます。その上でその代表になりうるかどうかということも含めていいのかなと。
0:25:42	補足です。結局わあ、
0:25:49	今回種類の整理の中で
0:25:52	第一層の種類としては大枠で屋内オク、
0:25:56	オクが良くない。
0:25:58	建屋、
0:26:00	あと何でしたっけ。
0:26:03	最初、
0:26:06	R側評価ボックスだとちょっと違う。
0:26:09	仕事はですね。
0:26:12	短期の配布の営業チームなので、どちらかというと
0:26:17	1期、
0:26:18	の目線で構造で多分仕切る、あんまり面倒くさいことはないかなと思いつながら、コサクです。
0:26:28	MOXだと今言われるところという性能的なところで分けていると、いうこと。
0:26:34	ですけど、でも、
0:26:36	耐震評価でいうと、性能で分けてるわけじゃない。
0:26:40	ですよ。
0:26:41	構造になり構造のしかもその指示形態って言った方が
0:26:46	いいかなと思うんですけど。
0:26:49	主事形態っていうか、物自体の、15もあるので、
0:26:54	ですけど、そういったところ
0:26:58	その中での差異分。
0:27:00	貸した累計が必要。
0:27:02	であって、それは耐震計算書の構成にもなっているから、
0:27:09	そこに
0:27:12	認識のそこはそんなになんだろうと思うんですけど、
0:27:18	小分けした類型の中で、一通りの説明ができていいのか。
0:27:24	特異な説明であって他の説明も必要なのかと。

0:27:29	というようなことをしっかりと話をさせていただかないといけないのかな。
0:27:35	思っていて、
0:27:38	グローボックス能
0:27:43	5とは言えないところっていうことだったり、もうそれに配管が取りついているところの扱いだったりっていうのを、
0:27:51	きっちりまだ説明いただけでないっていうところからすると、
0:27:55	今、
0:27:57	最初にその類型を踏まえた、
0:28:00	その代表という話をする組上もまだ十分に整理しきれてないのかなと。
0:28:07	いうふうに思ってます、
0:28:11	その点を、いつぐらいにどう話をするのかなっていうのが、もし、
0:28:18	説明グループ1 括弧評価と、
0:28:21	いう中でやるということであると、相当ここがネックになるんじゃないかな。
0:28:27	出ますので、スケジュール見てもそこは入っていないように見えるんですけど、
0:28:32	どうなってますはい。
0:28:34	でございます。500 雄踏 26 日も続いて宿題をいただいているもの。
0:28:41	今日出すんです、説明グループ1の資料。
0:28:46	2、4ですね、その中で、
0:28:50	前回も冷静で徳本金井の後、グローボックスの中に入っていない感動するっていうのも含めた横暴じゃないものっていうのをどう評価するか、そのグループどっかのところは、
0:29:01	その中で整理をして、回答しようかなと思ってました。
0:29:07	衛藤コサクですけどごめんなさい。
0:29:11	共通中に24、特に4だと思いますけど、だけで説明できるものとは到底思えなくて、補足が必要だと思うんですけど出てないっていうことに私は疑問視してる感じです。はい。
0:29:24	次、今、耐震を個別ホソノ単に遅れている。
0:29:28	向こうは
0:29:29	去年、葛西書記も含めた全体個別補足どうするんだろう、議論が残っているんで、そこを早く片付けなきゃいけないというのは認識してますはい。まだスケジュールもちょっと取れてないので、そこは至急整理をしたいと思いますはい。
0:29:42	はい。
0:29:46	それでいうと12、提出の資料のヒアリングっていうのが、18ですか。
0:29:55	はい。

0:29:56	その時にはどうしていくかは何か答えられるようにできますか。はい。
0:30:02	できる。
0:30:05	はい。
0:30:13	今の点で耐震。
0:30:15	伴の方から、
0:30:18	話をしておきたいことがあれば、
0:30:20	先に行つていてもらってもいいですか。
0:30:27	大丈夫。カミデですけど、今ちょっと私の方の音声がいまいちだったんですけど、あれですか、MOXの資料に資料4が出てくる。
0:30:40	タイミングに、補足も出てくるって話になったんすか今、
0:30:45	泉ニシダでございます。現状まだ、
0:30:48	うまく回ってないので、12日には出せない今日出せないの、18のヒアリング時にはどう進めていくのかっていうのを、去年からずっと宿題なってますけども、その説明ができるようにはしたいというのが今、野木、会話でした。
0:31:03	はい。わかりましたというか問題意識は同じなので同じことを繰り返していくことも、特に無理です。
0:31:11	はい。コサクです。まず、大きな懸念点。
0:31:16	対応した。
0:31:19	D、
0:31:22	ページ戻って最初の2ポツですけど、
0:31:27	その後っていうところワー、
0:31:33	書けばこうなっちゃうのかなっていう気もするんですけど。
0:31:37	ちょっと気になったのは、この後の
0:31:42	藤さんポツ2の方にも関係するんですけど、
0:31:47	耐震の関係地下構造の説明と、バグツと言っているのと、
0:31:54	その後の審査会合の方でモデル設定結果というふうに飛んじゃうんですけど、
0:32:03	一方で3ポツ2の方は③④と分けていてですね。
0:32:08	どこまで説明する。
0:32:09	つもりなんだということからすると③は、次回会合で説明しないつもりってことなんですか。
0:32:16	全然ノモトでございます。ですね、今の音に対しては、
0:32:23	本当イエスになるのかなと思ってそれを
0:32:26	昨年、一番最後の
0:32:29	タケヤでもこのところを議論させていただいたんです。

0:32:32	後は、①②とそれから③の方向性ということで、次回にここまでちょっとをするかなというような我々の思いなんかもちよっと言いながらやっていたんですけども、
0:32:43	やっぱりここは①②を、まずあの次回固めるのが先決であるという議論をまずさせていただいたという認識で、今回は①②を、ひとまず我々としてはやり切ると。
0:32:55	その次に③④ということなんですけどもそういう意味でですね今 2 ポツのところ③に関する記載がちょっと抜けておるということでございまして、その後のところに③、
0:33:05	はい。
0:33:05	こういう認識をして、
0:33:09	古作です趣旨はわかりました。ちょっと右往左往削減したので、
0:33:17	説明して頭がぼけちゃいましたけど、
0:33:18	一応そういう方針で聞いた上で、Dsの会合でも、010 については次回は 1 月の計画に近いということで、今、確かに 3、
0:33:30	2 度とか。
0:33:31	抜けてるってのは理解してるんですけど、後工程見ると、ちゃんとそこは事業者の方は、
0:33:41	次のスケジュールそのものはこう持ってるなということは理解しましたので、確かに続けてですね、なりました。はい。はい。
0:33:50	ただ、次回、
0:33:56	実情に応じたモデルですね。それを全部 12 グループ出しますよと。
0:34:02	いうところなんですけど先ほど説明あったように、実行案のところとかまだちょっと宿題になりかねないところもあるんで、
0:34:11	そこら辺はしっかりとフォローといいますかね。付けとらないんですね、残るところです。
0:34:18	2 月以降の、はい。
0:34:21	そういう意味でちょっとですねさっきの話、城さんが言われたような山のちょうどだしみたいなことがあってもいいかなという気はします。
0:34:31	しますけれども、あくまでも現時点では言われるように、次回変えるのは①②だということで、現時点ではお願いしたい。
0:34:40	はい。日本原燃の郷でございます。承知いたしましたアノを 0 にまで、とにかくきっちりやり切るという認識は共通だと思っております、あとアノ 032 への展望を、
0:34:51	少し、その時点でちょっとアノか、我々として、書けるものがあれば、やはりちょっと入れていくといったようなところも、ちょっと最初から、今日お

	見せするんじゃないかって、考えながら入れて参りたいと思います。以上です。
0:35:07	はい。コサクです。ありがとうございます。前回、ちゃんと
0:35:12	あまり拙速に焦らずに、しっかりやってみようという話で、約束事項にしちゃうと丸さんやんなきゃみたいになって、
0:35:23	②がおろそかになってはいけないということだったんだと思いますので、
0:35:29	なのでしっかりと②をやっていただくということで理解をしました。でます。
0:35:34	その中でですね、②をしっかりやればおのずと③が見えてくると、いうことだと思いますので、
0:35:42	あれですよね資料の形態で言えば、前回のAの資料を、他の
0:35:50	グループについても作っていくということでもいいですよ。はい。元ノモトでございます。同じネタを他のグループについてもまとめていくということだと思ってます。ちょっとボリュームが出ますんで、それはちょっと考えさせていただけようと思いますけれども、
0:36:03	はい、古作です。そうであれば大体丸さんに向けてっていうのは見えてくるんだろうなと思いますので、理解しました。
0:36:20	一方設備系の話でいうと、
0:36:29	残るのは、次は、再処理のグループ1にMOXのグループにだというのはその通り、構造設計の説明なしに評価にもいかないので、
0:36:40	次はこれですっていうのはその通りなんですけど、どう進めるつもりなのかっていうのを整理してくださいねと。
0:36:47	言っていたんですけど結局ノーアイデアのまま、
0:36:51	はい。
0:36:54	時点では、はい。まだ、
0:36:57	はい。
0:37:00	はい。
0:37:05	そうですね。
0:37:06	はい。
0:37:08	年末のう、社長のチャッこんでわあ、
0:37:13	頑張りますぐらいだったんだと思いますけど。
0:37:17	でも、
0:37:20	上期とは言ってはいなかったけど、
0:37:23	来年は竣工能大事な年になりますみたいなこと。
0:37:29	言われていてですね。
0:37:33	にもかかわらずコウても引けてない。
0:37:37	というのは、

0:37:39	ちょっと、
0:37:41	通常の企業体とするとありはい。
0:37:44	状況はなので、
0:37:48	先ほど1月に基盤を改めてしっかりとしてという話しましたが、
0:37:55	それ、それを年末にも言いましたが、体制としてもですね、整理をして いただいて実際にどれぐらいでできるものなのかと。
0:38:06	ということを見据えながら、聞いていくと、それが実現できることを常にフィ ードバックを受け、
0:38:13	いう形にさせていただく必要があるんだろうなと。
0:38:16	思いますので、次回少し整理したものをを見せていただければ
0:38:21	思います。
0:38:22	それをしないと多分、
0:38:26	1月2月特に3月、
0:38:28	の記者懇では、とてもじゃないけど、
0:38:32	話ができないんじゃないかなと。
0:38:34	いうふうに、
0:38:35	思いますし、整理もできてないんで、くちばし入れても、こちらも困るん で、
0:38:40	整理をしていっていただきたい。
0:38:48	ねえ。
0:38:55	次のサンポⅡ。
0:38:59	一井の部分は、
0:39:02	ほぼそれ一。
0:39:04	代表の話をして、
0:39:07	含めれば、順々にと。
0:39:09	ということだと思うので、
0:39:14	細かいことは、この後、
0:39:17	バスとして、
0:39:24	3ポツにも先ほど少し古野ハッシュを知っているなのでこの
0:39:29	部分だけで、特段何もなく、
0:39:33	先日のヒアリングでも話をしてるってということかなと思いますけど何かあ ります。
0:39:40	ないですか。
0:39:41	赤嶺さんもないですかね。
0:39:48	大丈夫です。はい、細田です。
0:39:53	どうしようかな
0:39:56	資料の順番で。

0:39:58	4 ページ。
0:40:02	をベースにしつつ、あまり意味ないかもしれないですけど、
0:40:07	8 ページ以降、
0:40:09	ということでの具体、少し話ができれば、
0:40:16	越冬
0:40:19	最初に石原さんから説明はいただきましたけど、
0:40:23	結局何が悩みなのか。
0:40:27	作業としてどうしていくのかっていうのがいまいちぴんときいてなくて、
0:40:34	等、
0:40:37	昨年中 2 エッセイの固有のもの、
0:40:42	対処として、得意。
0:40:45	なもの。
0:40:46	はい。
0:40:47	プラスっていうものと、あと条件を上乗せしているというものってというのは、抽出はし終わっていて、
0:40:56	そこは認識にぶれはないと思ってますけどいいですよはい。
0:41:01	そうすると、
0:41:04	それを埋め込むだけじゃないですかと。
0:41:08	いう時の埋め込み型が悩んでいる。
0:41:11	思うようにやってくれないってということですか。
0:41:17	はい。おっしゃっていただいたように、※1※2 で条件だったり許容限界っていうかね判定基準が変わったり、
0:41:26	ていうのを、あと、
0:41:28	明確にして提供。
0:41:30	SAの要求事項とひもつきをしつつ、
0:41:33	ADDの要求事項とひもづけました。
0:41:35	いうところで、ここまで来ればあとは、スライドしていただければ、全体に見えるというのが、去年思ってた件数だったと。
0:41:45	ここで、
0:41:48	思った通りいかなかったのは、
0:41:50	何て言うんでしょうね。
0:41:54	SAの要求事項をDBとひもづけるときに、
0:41:58	当たり前を考えること、例えば、そ接続コウだったりところの操作性が容易であることから操作が確実にできることみたいな要求事項に対して、
0:42:11	当然溢水みたいなものはありますけど、外部衝撃だってその環境条件で耐えまだちゃんとできなきゃいけないんでって言って紐づけをしました。

0:42:19	言ったときに、
0:42:24	普通に変換できると思ってたんですね。それっていうのは結局建物の中に入れて外部衝撃に耐えられる建物だから言えば、操作環境が確保できるよねっていう答えだろうと。
0:42:36	だから結局は対象としているものが、
0:42:39	Ss-Dの防護対象施設、これ以外に、接続とか操作場所とかそういうのが入るだけだよね。
0:42:46	やること一緒でしょっていうジョイントの仕方ができると思ったんですけど。
0:42:51	うまくいかなかったんですね。それが、
0:42:55	何て言えばいいんでしょうね。
0:43:01	外部衝撃に全般の耐えなさいけない事のいろんなところに振り飛ばしすぎたっていうか機能づけを大枠で大分したんですけど、
0:43:10	それぞれの項目で何を要求してるのかっていうところを、
0:43:14	何て言えばいいんでしょうね。
0:43:17	井清の要求事項はどうも頭よ、強く残リスギタのか、そのままSAの要求事項を持ってくるって作業してしまってるところが、
0:43:24	また話を面倒くさくしたのかなっていう気がしてますけど。
0:43:28	だって説明すれば
0:43:31	江藤です。ですね、まず4ページの資料で見ると、
0:43:42	ちょっと、
0:43:46	と真ん中の枠の、吹き出しが書いてあるところが17、提出という、
0:43:54	ものだとされてるんですけど、その入口になっているSAの設計項目の整理と言ってるのが先ほどの抽出の話で、そこは終わってますと。
0:44:04	それをこの図で言えば、DBの整理に入れ込みますと、そうです。
0:44:11	たりしていて、
0:44:13	ていうところですけど、素行の入れ込み方っていうのが悩み、
0:44:19	その、
0:44:20	今実線でぽんと飛ばしずつ、下のところから点線でフィードバックっていう形で書いてますけど、実線での入りが余りにも、
0:44:31	つかない。
0:44:32	いう感じで、このフィードバックの方が主になってるかのような状況だというふうに聞いていて思いました。
0:44:40	で、
0:44:43	何ですかねっていう古藤。
0:44:47	今聞きながら考えてたんですけど、
0:44:52	率直な感想でいうと、

0:44:56	DBでの設計方針。
0:44:58	理解しなさ過ぎじゃないですかと。
0:45:01	いうふうに思ってます。
0:45:05	前々から言ってますけど、DBだって、
0:45:08	それぞれ同じことを考えてますよと、レベルが違ったりするだけでと。
0:45:14	ええ。
0:45:15	安重を考えず、非安重を考えてください。
0:45:21	いうことなんですね、非安重であれば、壊れてもいいです。
0:45:25	措置して使います。
0:45:28	だけど、昨日は、
0:45:30	損なわないものでなければならぬとかっていうことには入っていて、
0:45:35	なので、それがSAに変わっているだけ。
0:45:40	なんですよ。
0:45:42	ていう意識が多分なくて、
0:45:44	設工認イコール安重って、安重との対比としか。
0:45:49	思っていないんじゃないかな、相変わらずって感じがするんです。
0:45:53	そこを払拭した上で、じゃあヒアリングどうなってますかねっていうのを、
0:45:59	あまり明示的に書いてないんですよ、DB側って。
0:46:03	大枠でしか書いてなくて細かく書いてないんですよ。
0:46:06	なので、細かく書いてないから受けがないって思っちゃう。
0:46:10	ですけど、
0:46:11	大枠では書いてあって実際はアノにスマダシノ中に入っている。
0:46:18	そこをしっかり等、DBの条文担当とかと話をして、
0:46:23	こういった措置で避難所だとどうですかね。
0:46:26	それはどこの部分で説明しますかね。
0:46:30	いうことをまとめて入れ込む場所を認識合わせると、
0:46:34	いうことじゃないかなと思ったんですけど、どうですか。
0:46:38	はい。西原。
0:46:40	まず一つはそういう問題はやっぱり、
0:46:43	はい。根井。
0:46:45	あとは、
0:46:48	自分で答えがわかってるんでこれ苦労するのかがなかなか難しいですけど、
0:46:55	そういう整理、かつ、DBで要求してる内容、そうですねとか全体的にはDBで要求してる内容をまず素直にちゃんと理解をしようということと、
0:47:07	古作です。それで言うんですけど、

0:47:12	先ほど来説明としてはこれ活火山の例で来てるので、後輩の
0:47:23	積載荷重的な話。
0:47:26	もうメインに話をされてたような気がする。
0:47:29	ですけど、
0:47:30	用い、それは比較的わかりやすくて、
0:47:36	11番で静的負荷という形になって、
0:47:41	静的負荷、
0:47:43	屋内については建屋内っていうことで建屋に期待をしますと、建屋に振 ってっていうことで次のページって、荷重に対します、
0:47:55	いうことになってるので、
0:47:57	それ自体は何ももう、
0:48:00	おかしいことはなくて、
0:48:04	それとですね、ここで言っている接続孔っていうのは、ここじゃないはず なんです。
0:48:11	接続構成的負荷に耐えるように、それはそれで機器の方でちゃんと説 明しなきゃいけないところです。
0:48:19	けど、
0:48:22	逆に言うと、
0:48:23	接続コウ。
0:48:26	に、
0:48:27	積載。
0:48:28	荷重として積もるように、
0:48:32	シマですか。
0:48:35	シライ。
0:48:37	タケヤ2ページでわからない経営ツジや、ごめんなさい。
0:48:42	そもそも、
0:48:44	そもそも、実用炉での接続コウと再処理施設での拙速って意味合いが、
0:48:53	ちょっと違って、
0:48:55	実はまさに接続コウとしてですね、管台なり何なり、取り付けて、
0:49:03	それに蓋をしておいてというようなことをするので、その養生としてどう なってますかと、上の方にボックスつけときますかとか何とかっていう 話。
0:49:12	になるのかなと思うんですけど。
0:49:18	ものとしてあるところ言えば、
0:49:20	通信の、
0:49:25	電送配線をするようなやつはボックスになっていて、

0:49:30	そのボックスは積もっても大丈夫なように設置しますってことになると思う。
0:49:36	ので、ここで説明ということだと。
0:49:40	思います。
0:49:42	が、
0:49:45	もし剥き出しだというものがあるのであれば、積もらないようにしますと かっていう話。
0:49:52	になってそれはこの枠でいいんです。
0:49:56	これだと日本中にですね。
0:50:01	ページ側の屋外の、
0:50:05	11 ページですね。ですね。
0:50:10	ですね。はい。
0:50:12	ということで、何を説明しなきゃいけないの。それが、DB側でどう、どこ でやってるって言えばおのずと今の話、繋がりますよね。はい。
0:50:22	ていうのを一つ一つ、
0:50:24	ちゃんと議論、社内でまずしてください。
0:50:30	その際にDBの方の人とも話をして、
0:50:34	入れ方として認識が違ってないと、同じような説明でいいか、或いは、D Bでの説明をこの部分だけだからちょっと足りないのここはプラスして ください。
0:50:47	ゆうのを合わせるということをまずやっていただき、
0:50:53	はい。次にございますはい。
0:50:56	どうぞ。
0:50:58	はい。はい。
0:50:59	議論して、
0:51:01	詰めないと駄目だ。
0:51:03	はい。はい。
0:51:05	で、もう一つ、火山で大事なものは降灰濃度。
0:51:11	出野アノ機能維持。
0:51:13	ということで、といっても結局はフィルター。はい。
0:51:19	性能的なところだったりってということで、それを維持するのに
0:51:27	収納さんとトレーダー。
0:51:31	ニシズミとかぐらいの、
0:51:33	に発足で設置して使用していく。それによってその建屋のフィルターに 期待をすると。
0:51:41	いう古藤。
0:51:43	だったと思うんですけど。

0:51:44	それはどこですか。11 ページ。
0:51:48	久貝。
0:51:51	愛知セキ
0:51:59	赤字で書いて、
0:52:01	これも言葉と、
0:52:05	戸外の配置設計で、
0:52:08	提言で屋内へ退避させる。
0:52:12	退避っていうんですかね。
0:52:14	誘導なんですかね、何ですか、そっちでしょ。
0:52:18	はい。
0:52:26	ヤスダはいつか。はい。
0:52:30	可搬のオクノは 8 時。
0:52:33	常設の設定値。
0:52:36	そんな感じ。
0:52:41	で、
0:52:43	ただ、それだ、屋内に入れりゃいいってことではないで、屋内の先ほどのフィルターがある。
0:52:51	ところに、
0:52:53	外気がちゃんと取り入れられるところじゃなきゃ駄目なんですよね。
0:52:59	これだと、単純に、屋外のものを屋内に入れて次、予備品使うときに使いやすくしますみたいに見えるんですよ。
0:53:08	そこがポイントじゃないはずなので、
0:53:11	そこが読めるようになってなると、
0:53:16	ここだけでは済まなくて。
0:53:19	ページの 12 番、多分問わない。
0:53:23	ここで言ってフィルターを期待してる人。
0:53:27	ここじゃねえ。取れなくというか、
0:53:30	火砕物のこの後に出てくる。
0:53:33	あと閉塞とか腐食とかあの辺的に考えるんでそことリンクさせて、そこでフィルターを設置している建物に収納する配置するか。
0:53:42	設計っていうのが多分、
0:53:44	ですね、その設計はそちの番号見てくださいみたいな。
0:53:48	はい。はい。
0:53:51	はい。です。まさにそう。
0:53:53	だと思ってますので、そこをしっかりと
0:53:58	話ができなからこうなってるんだらうなど。
0:54:02	てます。今、例示として二つ話しましたが、

0:54:08	何でこんなことができないんですかねっていう。
0:54:14	ちょっと状況を教えて欲しいんですけど。
0:54:19	はい、乳井理事。
0:54:21	私はなんでしょうね。
0:54:28	あコサクです。勝手な印象ですけど、この表を作ろうとしてませんか。それということなんですよ。
0:54:37	僕らって何をしなきゃいけないんだっけと率直に考えてそれDBでどうしてるんだっけ。
0:54:42	で、今どこに書いて、整理してます。
0:54:46	それだけじゃないですか。
0:54:49	ていうところの作業の趣旨を、
0:54:52	履き違えてやっている。
0:54:55	これ原燃伝える。
0:54:57	なので、それを払拭するため2、4月から製品一部行ってるわけですから、いい加減。
0:55:05	作業者のマインドをですね。
0:55:07	内容の方に、形式的に書類を作るとかじゃなく、ちゃんと内容を理解をして、
0:55:13	対応して、
0:55:15	いうことにシフトしていただく必要があるんだろうなと。
0:55:19	思います。
0:55:22	とは言っても、
0:55:24	やっぱり、
0:55:26	最終的には書類にしなきゃ、認識が合っていないので、書類を使わなきゃいけない。
0:55:32	ということなんですけど。
0:55:34	この表、
0:55:36	相変わらず作業していくんですかっていうのがよくわからなくて、
0:55:41	わからないならやるしかねえだろっていう部分もなくはないんですけど、
0:55:47	この次に狂うし共通中に資料10、資料2、
0:55:55	どうなっていくかと。
0:55:57	いうところと、
0:55:59	全体の作業のイメージを作っておかないと、ぶつ切りになってたこの整理したけど資料2を作成でまた同じ議論する羽目になるみたいに、
0:56:10	なるとですね無駄が多過ぎるんですよ。
0:56:16	無駄があってもやります時間かけます。別に構わないんですけど、
0:56:23	それって作業負担感が非常に強くてやる気をそぐ。

0:56:28	かつ品質が落ちるということに繋がる。
0:56:32	と。
0:56:33	いう懸念が非常に強くてですね、そういうのはなるべく避けた方がいいんじゃないですかと。
0:56:39	込むとせず、
0:56:43	出そうする等、
0:56:48	資料に行って、
0:56:52	まず 36 条で 1 枚作りますよね。そこで、八条のどの部分に飛ばしますっていうことを書くっていうこと。
0:57:03	したよね。
0:57:06	そのどの部分かっていうのを認識合わせるために、この表を作ってた。
0:57:13	ですね。
0:57:17	正しくですね。はい。
0:57:20	なんで、この表を使いながらでもいいですけど、しっかりとそれで、資料にまで
0:57:27	ほぼセットで作業ができるんじゃないかなと。
0:57:31	思います。
0:57:32	確か前々回だと、DBの、
0:57:37	資料 2 の番号とかも振りながら書かれてたんですよ並べて作ってね。
0:57:43	あそこへ北川とコウは見るだけだっていう、
0:57:47	思うじゃないですか。
0:57:49	ただ、よく見ていただくとあれもう右側に書いてあるやつが、
0:57:53	オオモトの要求事項、バクッと書いてるだけなんですよ。要は分解できてなくて、
0:57:58	なのでオオモトが要求事項振られたところで、
0:58:01	どこが入ってるんだっけここっていうのがよくわかんない状態で比較表になってる。
0:58:06	そこをちゃんと整理するっていうのがいるのかなって気はしましたけど。はい。高坂です。それは昨年お話して
0:58:13	それが結果で言ってあったと思ってっていうのがよくないのかもしれないですけど。
0:58:19	はい。それを担当者が認識をしておらず、分解せずに作業したもんだから、こんなこと内容がわからずわからないまま、わからない人がわからない人に相談をしていると。
0:58:30	というような状況になってるんだろうな。

0:58:33	思いますので先ほど言ったところですねここに、これって本来何が必要なんでしたっけっていう具体を、
0:58:40	ピックアップをして、その上で、DBの、
0:58:44	見どころ、はい。
0:58:46	いうことを入れて、
0:58:52	等
0:58:53	それって言ったら、
0:58:55	それで資料 2 をつくりてそうすれば資料 3、
0:58:59	説明する根拠を持っていて、
0:59:03	今話をしたようなやつは、
0:59:06	当然のことながら、
0:59:07	プラスになるので、説明する項目としてはゲイそのサンプルとして制度。
0:59:14	特徴的なものを、はい。
0:59:19	ということになるので、
0:59:23	理解はしていけるかなと思います。そうすると 11 日の提出ってどうなります。
0:59:40	いるのか要らないのか、何をするのか、個人的には、もういらないと。はい。
0:59:47	ちょっと早々作業をやってみてっていうのをちょっとまたお茶を濁しながら残ってるのは、若干ながら不安は残りながらもやるともう見えてるから、多分、
0:59:59	うん。はい。
1:00:06	コサクです。わかりました。そしたら、
1:00:10	17 日提出資料、
1:00:13	わざわざ作るのをおかしいので、先ほど言ったような作業をしっかりとしていただいて、
1:00:19	17 日までに通し、
1:00:22	議論できますね。
1:00:24	しゃあない。
1:00:25	そうされるのであれば、
1:00:30	資料 2 を作り込むイメージ。
1:00:33	が、
1:00:35	間違いのない状態で社内共有ができた。
1:00:38	いう形に 17 にすると。
1:00:42	なればですね、そこで悩みがあったりと、というようなことは、18 日に進め方ヒラノ資料提示があるので、

1:00:52	そこの中に入れていただいて、
1:00:56	どういうふうにそういうのは使えばいいかということをお話をさせていただければと思います。
1:01:03	藤原さん。
1:01:07	規制庁の千原です。
1:01:12	共通住民の資料。
1:01:15	開けると。
1:01:16	やっぱり、
1:01:18	過密しようとして、
1:01:20	最後、
1:01:21	結構、さっき言ったような作業を1個ちゃんとしなきゃいけないのに、時間がとか、
1:01:27	時間かかってしまって、次のこの部分できてないとか、そういうのが現れそうでないので、本当にしっかりと、
1:01:34	一つ一つに対して、これは何をすべきかっていう話を、DBの担当者とSEの担当者が、
1:01:42	相談して治療を確実に作っていくっていうのは、手を抜かずにやっていただきたいので、日付ITはあまり。
1:01:51	タダなので18日にはちゃんと相談をしてくださいといったところであったり、見えてきた課題であったりとか、そういったものを抽出していただいて、お伝えしていただくというところ。
1:02:02	を目標ぐらいにさせていただいて、
1:02:05	提出日をこういうふうに決めましたとかそういうのは、どちらかというと、まだその時いらぬというか、もちろん、古作ですそれでいうと、共通12の資料2の提出日っていうのは、
1:02:20	今宣言しなくても構わない。
1:02:23	ただ作業の方針として認識が合っていると。
1:02:27	でないと18日というところも、
1:02:31	相談事項がちゃんと抽出できないということになっちゃうので、そこはしっかりやっていただきたいなど。
1:02:38	そこが一どの程度の認識度合いかっていうのははっきりしておく。
1:02:43	たいていことかなと思うので、
1:02:45	18日の提出通のその日や進め方日ヤノ資料。
1:02:50	は、
1:02:51	悩みがあったら書くではなくて、今言った
1:02:56	36条の項目ベースでいいんですけど、その中でこういう特徴の部分はこういう場所に入れ込むことに、

1:03:04	してますとか、
1:03:06	そういう、大輪空の作業状況というのを少し整理をして提示いただくと間違いがないかなと思うのでお願いします。
1:03:16	はい。入院しました。はい。
1:03:21	ちなみに、セガワさんは聞いているのかな。
1:03:24	瀬川さん、イメージはわかりました。
1:03:30	はい、六ヶ所事務局ですけどすみません瀬川ですけどもちょっとし、ヒアリング会場に不在でございまして、発言できません。はい。申し上げたんです。
1:03:41	わかりました。ちょっと残念ですけど。
1:03:55	4 ページに戻り、古作です 4 ページに戻ってその真ん中の
1:04:01	何かハズになってるような、
1:04:04	の話はそれでいいとしてですね。
1:04:08	当然、さっき最後の方に言ったようにSAどういうものっていうことがあればそれについての代表もいると、というようなことなので右側に行くと、
1:04:18	いうゴトウだと。
1:04:20	思いますので、
1:04:24	しっかりとまわししていただきたいと思います。
1:04:28	左側の方も、先ほど、実践チャンネルのみがありましたけど、
1:04:35	まとめていただいて、
1:04:44	こちら側のラインは明確だからいいんですけど、
1:04:48	下に落ちているところの、はい。
1:04:51	添付書類の記載整理っていうのが、ちょっと宙に浮いてる感じがするん。
1:04:59	ですけど、
1:05:00	これ何か課題ありますか。
1:05:03	西原でございます。課題という課題ではないと思っはいるんですけど、もともと、
1:05:13	#NAME?
1:05:15	申請者出してるので、あんまこだわってもしようがないんですけど、ということで、もともとが、
1:05:21	DSAの切り分けって上手くできてない状態で添付書類を作っているので、そのまま添付書類あると。
1:05:27	わけがわからんことになるので、そこの整理をしたいってだけなんですけど、この上の四角の交通整理ができれば、そんな悩むこともないかなと思ってます。はい。

1:05:37	はい。古作です。私もそう思っているのですが、ただあまり作業してからやって違っているとですね、先ほど言った無駄作業、
1:05:47	車で、
1:05:50	まず整理できたら、資料 34 ということになりますけど、
1:05:56	その際に
1:05:58	添付書類では工夫するつもりというゴトウの話もあわせてしていただいたらいいかなと。
1:06:06	はい。
1:06:10	特に外傷関係、SAが、
1:06:13	最初に出てなくて第 1 回、
1:06:15	第 1 回MOX出してるんですけど、とはいえ、同じ建物の話をしてるだけなんで、
1:06:20	案内、SDジョイントした時の、例えば竜巻の添付書類なんていうのは、
1:06:26	基本方針、対象選定設計方針評価方針評価結果という並びの評価方針ところでジョイントしてるんですよ。
1:06:35	うん。要は設計があまり変わらないから、もう設計はそれぞれ語ってる同じものですよって言ってしまえば終わりなのであまりそんなことになってないんですけど、この赤字とかを出していくと当然設計方針にハタなきやいけないこと出てくるっていう。
1:06:48	そういったことで、形を変えていかないといけないところを、今、12 月に出して、そい第 1 回のやつを多分参考にして作ってる。うん。うん。そうになってないんです。なんかその分、SAで一生懸命語ってるわけですよ。その分、
1:07:01	そこをちょっとまげてうまく変えていかなきゃいけないので、その辺の整理をしなきゃなっていうところが、野木さんの資格です。
1:07:08	はい。添付書類の構成なり、
1:07:13	書く内容も結局、今作業されている、36 条側での、
1:07:21	大枠で書いてあるやつ、具体。
1:07:23	分解をして、発情版に展開をすると。
1:07:28	ということとまさに同じなので、添付書類だとどの位置になりますかねと。
1:07:32	いうことを見てもらえれば、おのずと出てくると。
1:07:36	いうのはその通りだと思いますので、
1:07:41	その認識が末端まで浸透するように、
1:07:46	整理をして、
1:07:50	はい、補足です。そしたら、5 ページ。
1:07:58	はい。グループ 1 については少しザッと話をしました。

1:08:03	評価のグループ1については、ざっと話をしましたけど、
1:08:08	それ以外、
1:08:11	一つ一つわからないことが、
1:08:15	あるかなと思っていてですね。
1:08:18	臨界についてはトモニグループさんなので、シリーズでやっていくということなんだろうなと思いますけど。
1:08:25	耐震でいう当間先ほど言ったようにグループ1と言いながらグループ1でちゃんと説明できる状況にまだなってません。
1:08:32	ということで、
1:08:34	グループ1とグループ3に分けていると、いうことが何なん、どういう意味なんだというときに、これどうどう結局グループさんなんでしたっけ。
1:08:55	再処理とまざっちゃってはいないんですか配当がグループ6倍残ったのはイトウが確かグループさん出てくるってだけなので、そこは、
1:09:06	何か、なぜ別々なんですかねっていうのも含めて、
1:09:10	ちょっと評価の仕方は、整理しますけど。はい。そっか。しかも、ボックスの場合はぴあがもう第1回。
1:09:17	はい。の方になってるから、構造物云々ってなると、
1:09:25	ということでグループ3出るっていうことは、
1:09:31	しかも再処理の方まだシート、はい。
1:09:34	ということですかね。うん。そこと合わせられるようにっていうと、グループじゃなくてないです。
1:09:39	そうすると、
1:09:41	解析評価の方のグループ1とグループ3の分けっていうのも、機器カ一。
1:09:47	構造物化っていう関係で思えばいいんですかというのと、
1:09:52	グループ1が、
1:09:55	何でしょう、評価そのもののB者で、
1:09:59	三階の排気塔の多分、
1:10:01	波及影響の話だけを、
1:10:03	グループ3でしてるんじゃないかなって気がしますが、上、一番最初に書いてあるか幾ら数の損傷って言ってんのかそういうことなんですか。
1:10:23	タテ。
1:10:24	そうですね。
1:10:26	だからここは、
1:10:27	機器配管系間だから、グループ一番はっきり言って、
1:10:30	関係はグループ内、うん。排気塔が建物構築物、グループさ、これ。

1:10:36	構築物と言いながらも、系統的には気体廃棄物系なので換気設備、
1:10:41	一部として、第3回、第3設備グループ傘下エネルギーがその分担になって、
1:10:48	はい。
1:10:52	で、構造のグループ5については、
1:10:57	0か。
1:11:09	ちょっとここ解説をちゃんと書く。
1:11:11	うん。
1:11:16	はい。はい。
1:11:26	それだけ。
1:11:29	なので、説明グループ1で、
1:11:33	7ページの一冊下、
1:11:35	これ、1.2Ssを超えて、
1:11:38	コサクです。そもそも、
1:11:43	先ほど言っていたDBと統合してやっていきますよという降り方とこの表は合ってるんですか。
1:11:50	ということなんですけど。
1:11:53	どうするんです。前。
1:11:55	東さん。
1:11:56	前作ったそのまま、そのまま使って続けてあります。前もこのSAのグループをどうすんですかって言うたって、
1:12:08	その時今回兼用設備で関係が一部しか入ってないんですよ。ボックスの第2回って、それに対してSAとDBで何か設計変わったかって言ったら、しないで1.2セガワもしないと
1:12:21	条件が変わらないみたいな話なので、そこをどう説明していくのが効率的かっていうのをちょっと整理をしたいと。
1:12:27	はい。今、
1:12:29	結局一緒ですよ条件変わるだけですって言うのグループでもう1回、何か増え変えてやるみたいなイメージで今なってるところがあるので、それが本当に合理的なのかってのは、
1:12:38	ちょっとこちらで整理をさせていただきたい。
1:12:45	はい。
1:12:47	基本的には、
1:12:50	耐震計算書2塗って行ってセットで説明をします。
1:12:56	いうことだったと思うので、
1:12:59	この表もうそっちで対応してますと書いて、上で、
1:13:05	求めるんじゃないのか。

1:13:08	結果の会合の資料です。なので、上の枠のところは 36 条っていうのが、
1:13:16	それを最初に会社にふやして、
1:13:20	いたところ、
1:13:21	とMOXも同じように、
1:13:24	30 条
1:13:27	については少なく、33 条ちょっと悩ましい。
1:13:30	でも、ものがある、構造そっちで、
1:13:38	1 つですか。
1:13:41	33 条。結局、中身の話は、
1:13:44	第 3 回です。
1:13:45	になってるんじゃない。
1:13:47	そうですね。はい。
1:13:50	ていうので、少し表の平仄を最終整理等もあわせて行ってもらったらいいかと思います。
1:14:01	その上でその 1.2Ssの、
1:14:06	説明はものが出てきてからにしたいので、
1:14:10	グループごととしてやりますよと。
1:14:13	ということ自体はいいんですけど、その時はやっぱ差分、
1:14:17	になって、グループ 1 で説明してあることについては、
1:14:22	奨励して、
1:14:24	ということなんじゃないかな、逆に言うとグループ 1 でその部分もしっかり
1:14:32	今日、
1:14:36	いうふうに
1:14:47	コサクです。八条の部分はグループ 2 グループにっていうこと。
1:14:55	はありますか。
1:14:59	ナック、
1:15:02	楠田から、
1:15:10	何だ。久郷。はい。
1:15:14	フィルター等、何か気圧サカイの話し合いしかない、メイン評価っていうと気圧差荷重ですね、そんな話しかない。
1:15:26	対象ではありますけど、はい。
1:15:30	はい。わかりました。
1:15:37	閉じ込めはグループ 3 になってますけど、
1:15:41	先ほどの換気との関係にもなってるグループ 1 つつうのはどうという扱いになる。
1:15:49	カットそこ※書きで書いてある

1:15:51	んじゃこれ違うな。
1:15:53	はい。
1:15:57	感じとしているのが、あくまで麻生でも閉じ込められて2号機ってそのインテイクのやつが、寒気の条件の一部にはなるので、
1:16:08	その説明をグループ維持してるっていうのもインプットになった上で、換気はグループ1でできるでしょう。Dグループさんに閉じ込めがしてるのは、
1:16:19	漏えい器の
1:16:21	受け皿透析の話ですね、これがジョイントしてるんで、全体そろったところでやりましょうって意味でグループ3にしてる。
1:16:29	関係性ですね。
1:16:31	古作です。それでと神吉側Dインプットになるてるのは、
1:16:36	評価のグループ3ではなくて、
1:16:40	構造の方のグループ1でもインプットをつくれてるっていうことですね。はい。
1:16:48	そこら辺は、
1:16:50	この辺の銀行をちゃんと来説明しないとですね。はい。ちょっと
1:16:55	はい。ちょっと多田横井ナベタだけ感覚で、はい。
1:17:00	工夫します。はい。
1:17:02	はい。
1:17:02	オクですよ。
1:17:06	うん。はい。
1:17:10	まあ、
1:17:11	十条なんかも、
1:17:13	評価がない人がいい。
1:17:15	これだけ見ると、
1:17:16	ニイツ 1134。
1:17:19	李さんなのかって、見た目でわかり、
1:17:22	一体、
1:17:26	はい。これあれですかグループ4っていうのは、
1:17:32	3までの説明に包含されるっていうことなんですか。
1:17:37	いや、どちらかというにああいうの本当の非管理区域の換気設備とか、残った8πクラスが全部このグループに集まっているので、
1:17:47	口頭設計の説明をします。
1:17:49	土肥評価に繋がるようなものがないというご意見お願いいたします。
1:17:57	その辺も認めてわからない。はい、わかりました。はい。
1:18:06	はい。第

1:18:10	議論すべき。
1:18:12	項目としては話ができ、
1:18:15	だと思しますので、
1:18:17	7 ページまで、
1:18:18	続きますけど、同様にやっていただければと思いますが、
1:18:23	具体にもオカに行きたいことがある方がいれば、
1:18:33	規制庁アライですけど、
1:18:35	先ほどの議論と、やっぱり構造設計の評価っていうのは対になるっていうところが、
1:18:41	この表では、どどこが対応してるかっていうのはわからないっていうと、多分これ結果を示されたただけなんでその過程がちゃんと示されれば、
1:18:50	例えば今回グループ 1 の評価をやりましてなったときに説明範囲がしっかりしてくるのかなとは思っています。
1:18:58	瀬谷土岐になったのは、6 ページ目の材料の材料構造のところ、真ん中のグループさんの構造強度評価っていうのは何なんですか。市野さんの 1 のところにありますけど、
1:19:15	これは明らかにミスプリです。
1:19:20	うん。
1:19:21	ミギタは駄目ですね。
1:19:27	間違いがない場合。はい。すいません。
1:19:34	はい。あれじゃこれ間違いということで、その下の十七条の一番右のグループ 3 で示してるっていう、これって何か理由があるんですけど。給料の話。
1:19:45	グループ 1 で、
1:19:46	やるっていう話は第 20 条のところでは出てきてるんですけど、
1:19:51	貯蔵が、熱だけがグループさそうですね、はい。
1:19:57	ですね、これ、関係性がこれもちょうと書かないとわからないのが、グループするのが、
1:20:08	17 条、20 条、23 とかね。
1:20:12	が、
1:20:15	風量的にはしていて、
1:20:18	で、
1:20:21	最終的な風量の設定の後、合計っていうんすかね全部の意思を出したのが 20 条、
1:20:28	になってる。
1:20:30	不破ページの話だけが今 23 条でグループできて、

1:20:35	これも大分全部まとめてグループ 3 でやりゃいいんですけど、
1:20:39	そんなこと言うといつまでたっても出てこない。
1:20:43	はい。
1:20:46	この 20 条である、半期風量全体の一つの因子が十四条に入っている崩壊熱以下、
1:20:54	崩壊熱後はほぼ所、貯蔵能力とか、メインの中身が出てこないと、説明できないからグループさんにさせていただいて、
1:21:03	はい。その辺の関係性もちょっとわかりますけど、そういうことですね。はい。要するに漏れ率は先行して、はい。
1:21:10	前に決まっているので、
1:21:13	できるけども、そういう除熱に必要なインプットの発熱条件がそろわないので、はい。
1:21:20	はい。
1:21:22	ちゃんと説明できればいいのかな。
1:21:25	はい。
1:21:26	喜納の一番先ほど議論あった 7 ページ目の外部放出抑制って、
1:21:33	結局は、SAの話なんですよ。
1:21:36	はい。うん。
1:21:38	これは、
1:21:40	30 条対応で説明するってことなんですけど、先ほどの話だとか 2 人 33 人必要ないとか、あと関連者の第 34 条とかもあったような気がするんですけど。
1:21:52	第 30 条は拡散抑制の話とか、条文だと思ったんですけど、これは設備名称をそのまま書いてるんですけども、
1:22:02	換気設備のダクトの部分っていう兼ね合いと排風機のケーシングの部分、そこが再オオノ放出抑制って外部に出す時には、
1:22:11	経路になってるんで、
1:22:14	これを外部放出抑制って呼んでますけど、眉何のことはないかなと。
1:22:20	バウンダリとして維持しますってだけでいってそこだけではない。
1:22:24	わかりました。
1:22:27	ちょっと説明すべき事項っていうんですかねこの杉ツキダテ書き方になったら少し読みにくいというか、っていうところが課題になってるってことですかね。はい、わかりました。
1:22:38	細かいところは以上です。私から。
1:22:42	はい、終わります。
1:22:51	いいですかね。
1:22:54	規制庁山口です。1 点いいですか。どうぞ。

1:22:59	12条の溢水についてちょっと確認したいんですけども、
1:23:05	どう、
1:23:06	ユフ、
1:23:07	5ページで、今のところ2-2で評価バーになってるんですけども、米印読むと、はい。勉強会后配慮が必要な高さは今回、
1:23:20	示してそれ以外は第4回でってことで書かれてて、ここを最終的には申請書でその仕様表に記載する。
1:23:30	水防護上の配慮が必要な高さっていうのを、仕様表の数値を入れていく。
1:23:37	今回の申請で入れていくって思っていていいですかねそれであれば今回、評価は説明しないっていうのも、どういう整理なのかなっていうのがちょっと気になったので、説明いただけますか。
1:23:50	はい。荷揚ニシダでございます。構造設計と評価できるかっていうのは
1:23:57	最初についても、
1:23:58	何かいろいろと話が出ているのであれですけど、今考えたのは、
1:24:04	いわゆる配慮が必要な高さっていうのは機器の構造とかから、機能喪失しては困る高さが決まってくるので、そこは構造設計側で説明できるだろうと。
1:24:13	いうことでまた、とはいえ、
1:24:16	最終的に評価って意味では、配慮が必要な高さ、
1:24:20	溢水高さの比較をして機能喪失しないですよっていう確認をするというのが多分最後評価になる。
1:24:27	構造線力ガワでちゃんとインプットを出さなきゃいけないよといったところが配慮が必要な高さなのかなということで、
1:24:34	今そういう意味で、神戸を右に書いてることが、なかなか理事がうまくとれないんですけど、構造設計側説明グループさんの行動側では、そこも説明はしようかなと思ってます。
1:24:45	ただ前回、
1:24:47	燃転開店12月に入ってからかな。
1:24:51	この話は、資料、
1:24:56	MOXで出した共通順位の資料1の別添だったかな。
1:25:03	施設共通基本の方針で一斉にところアノ丸つけてるやつ、湯田といっぱい丸ついてて何だっかっていって話だったと思うんですけど。
1:25:10	基本的には、
1:25:14	若干面倒くさいなと思っているのは、配慮が必要な高さっていうのは、機器単品の機能喪失高さを並べて、エリアの防護区画の中で一番低いやつを、

1:25:25	多分配慮が必要な高さに設定するので、それが書かれると、
1:25:29	ということなんですけど、防護区画の中に第2回と第3回の申請対象物 いうと、第3回の方が低ければ、当然第3回ぐらいに合わせて配慮が 必要だから設定しないとイケない
1:25:41	それを多分個別補足もうまく使って全体を示しながら、なんでこの入 方はさが必要だったからこれでいいんですみたいな説明をせんとあか んですけど、その辺の整理をまだうまく、
1:25:52	どうやってつか説明できてないので、それはちょっと説明が要るかなと 思って、
1:25:58	ただ構造設計側で十分説明できるんじゃないかなというところで、評価 は第4回でやりますということで整理をしてました。
1:26:08	規制庁ヤマグチですと、今最初に説明あった内容でいうと、機能喪失高 さっていうのは、構造の説明から説明できるから、
1:26:20	その機能そして高さっていうのはピットの仕様表のもう、
1:26:24	ほぼ設計、溢水防護上考慮が必要な高さとして入れていくことができ て、最終的には評価の方で、第4回で、
1:26:34	溢水の水頭を比較してそれで、
1:26:38	満足されるかっていうのは、最終的案が4回で海域完結するというこ とで、理解しました。今の追加でしまったように、同じ区画で、第2回第3 回で、
1:26:51	分かれるものについて今後説明していくっていうことでもともとなんかの 補足説明資料を主、今日、昔のステージされたスケジュールで今日提 出予定となっていたところが
1:27:05	後田橋野って思うんですけど、その作業住宅とかって、どういう状況で すから、
1:27:12	はい、泉西原でございます。はい。
1:27:15	学生社私です。
1:27:18	イマセで一つ至急やります。はい。
1:27:22	1 規制庁ヤマグチイセ1アノ。
1:27:25	作成はされてるってということで結局何言ってるかっていうことをそこ確認 したいのは未確認できればと思っているので、はい、あの作業中という ことであれば準備できたら消していただければと思うのでよろしくお願 いします。
1:27:40	私からは以上です。
1:27:43	補足です。
1:27:46	二つ目の、

1:27:49	一つ目の米は今話し合ったんですけど、二つ目の※何書いてるか全然わかんないんですけど、はい。
1:27:57	1 回位の申請対象だか 4 回でって、
1:28:02	いうのじゃこれ説明として成り立ってないです。
1:28:05	はい。
1:28:06	ちょっとちゃんとそれ何ですか、ちゃんとちょっと書きますけど、
1:28:12	第 2 回に、例えば井関等によって、ほとんど水物が来目途がないんで、水があったUTT系とか生き背景とかほとんどBクラスか、もう水着の周りばかりなんですけど、
1:28:27	第 2 回に特に液背景が出てきますと、
1:28:31	液廃系の設備は今、
1:28:36	今回の共通家でも資料、説明グループ傘下に閉じ込め関係で出てきまずけど、
1:28:44	設備の構成だったり構造設計だったり、配置設計だったり説明はします。
1:28:49	あとはだから、水源として、
1:28:53	なりますよ、1000 円としていい水がこんだけになりますよみたいな話は、当然 4 階でやろうかなと思って、ただ、構造設計側で説明しなきゃいけない部分は第 2 回で説明出てくるものは第 2 回で説明する次第班会で出てくるのが第 3 回で説明するしっていう、
1:29:08	その辺の役割分担としてどうしようかなってところをうまく書きたかったなと思いつながら、
1:29:14	うまくできなかったですね。
1:29:16	古作です。先ほど確認しちゃうと同じことになるかなと思うんですけど、
1:29:22	第 4 回での、ここで説明しなきゃいけないことっていうののインプットっていうのを、しっかりここでつくれてますかと。
1:29:30	いうことだと思うんですけど、それは構造側です。つくれてますってことなんですかね。はい。
1:29:37	ていうのをやっぱり書かなきゃいけないんじゃないですかね。
1:29:42	この状況わかりましたので先ほどの話と含めて、はい全体の関係性がわかるようにしてください。はい。
1:29:51	他はありますか。
1:30:02	はい、小磯です。そしたらあとスケジュールかなと思いますけど何か確認したいことがある。
1:30:23	特段ないですか。
1:30:25	これまでの中でちょろちょろと話をしたと思いますので、
1:30:29	ご対応

1:30:31	ということだと思います。
1:30:35	で、
1:30:36	最初の方にもありましたけど、個別補足説明が、これだけでいいのって いうとそういうわけでもなく、
1:30:44	しっかりと対応いただきたいんですけど。
1:30:48	何か
1:30:49	当初だと 00 資料No。
1:30:54	何番でしたっけ。
1:30:56	4 で 5 でしたっけ。
1:30:58	はい。
1:30:59	てって言いながら、共通 12 側に来て共通中に側でも少し整理をされて と。
1:31:08	何でしたっけ、資料 2 のページ辺ぐらゐの感じさえでしたっけ。
1:31:12	参考です。
1:31:14	ついてということになりましたけど、何か全般的に中張りな感じになって いてですね。
1:31:21	ちゃんと整理できてるのがよくわかんないんですけど、どうしまし ょうか。はい。
1:31:29	毎回同じような、
1:31:32	だからそういう意味で、
1:31:35	さっきの構造評価の関係の説明グループを立てたとき、これに関する 補足って何っていうのをちゃんとリンクをとって整理をして、
1:31:45	いくと。
1:31:46	ということで、それと、に比べれば出てきてるもの出てこなきゃいけないも のでも出てるよねって確認ができるように、作業はしたいと思います。ち よっと一目でわかる。
1:31:57	そうすると、構造設計の評価と両方跨ってることです。そこで誰って多分 わかると思う。
1:32:05	ことです。そうだとするとあれですかね、今日. 5 ペイジー以降に書いて あるここに、補足を書いている横に両方あればありがとうございます。 はい。
1:32:20	と思います。はい。
1:32:22	はい。
1:32:32	作業やったんですけど、結局層準やって増えて、別。
1:32:37	結局足りなかったよっていう形になって、古作です。その通りなんです。
1:32:43	00 の時 2、実用炉との比較もしていただいて、足りないところっていうの を認識してもらえるかなと。

1:32:52	思ってますね最初申請書を見た時に愕然としたので、
1:32:57	実用炉見てねえじゃん。見てつくれって言ったのについていう間gだったのが、いや、最初良好なんでとか言い訳ばかりなんですよ。
1:33:09	言い訳一つ一つ聞いてやろうじゃないかということで00資料作ってもらって、
1:33:14	見たところ言い訳も何もなくて、ただ事実が書いてあるだけと。
1:33:19	違いはあって違いはあるけどいいんですみたいな。
1:33:24	ていう感じだったので一つ一つちゃんと説明しろ、一つ一ついいですという理由がつくれないからいいんですになっちゃっていて、書けないのでやるってことじゃないのかと。
1:33:34	ということで仕切り直しをしつつ、補足の制度まで、あん時に行きつけてなくてですね。
1:33:41	添付に書くってことだなんていうような感じだったんですけど、
1:33:46	それに気づいてもらうように、サンプルでできるということでこの共通12の世界に入ってきて、やってみたらやっぱり無理だよねと。
1:33:55	ということがわかってきたと。
1:33:57	ということだと思ってるんです。
1:34:00	名の
1:34:03	しっかりとですね抽出をして、番号をふやしても、枝番でも何でもいいんですけど、
1:34:09	コンテンツはしっかりとまとめていただいて、それは00資料の方にもフィードバックをしてというのは、
1:34:16	今日の資料にはないですけど、前あったと思いますので、
1:34:23	ええ。
1:34:24	ええ。
1:34:25	そのあたりのフィードバックのかけ方とか、
1:34:28	肯定感もですね、先ほどの全体工程、
1:34:33	整理をしてねっていう中でわあ、はい。
1:34:36	で来ないと多分、先ほど時間結構かかると思うんで、
1:34:41	そのあたり、
1:34:44	もうおいおい。
1:34:46	見えてこ
1:34:48	を持っていますので、
1:34:54	はい。
1:35:01	クリタてるんじゃないかなという不安があるので、はい。
1:35:06	はい。補足です。よろしく申し上げます。

1:35:09	結構大事な作業、申請書を作る時にですね、記載漏れはないのか網羅してるのか、内容として正しいのかと。
1:35:19	いうチェックが必要だと思うんですけど作業の骨格になってると思うんですね。
1:35:25	あんな資料作らなくても、過去、新基準適合を受けたプラントって全部やっているん。
1:35:33	だと思うんです。
1:35:34	やり方はいろいろある。
1:35:37	それが
1:35:38	あまり言えないから、
1:35:41	やってないと勘違いをされていたんじゃないかな。
1:35:45	いうふうに感じていてですね、物としてしっかりと、
1:35:49	見えるようにしていくっていうのが原燃においては大事なのかなと。
1:35:53	思って
1:35:54	そこまでやるのと、最初見た時思ったと思うんですけど
1:35:59	作業なんだ。
1:36:02	将来的には必要なくできるできるようになって欲しいんですけど。
1:36:06	そこまでいっていただければと。
1:36:09	ます。
1:36:14	今日は時間ではありますけど、
1:36:17	ほかになければ終わりに。
1:36:19	と思いますが、
1:36:21	懸念が持たないです。大丈夫。
1:36:25	病院の件でございます冒頭にお話をします。
1:36:29	まずはアシダハシモトオカタマウチ一月二月パラメナイトウ大事な年で、きっちりすると思います。ありがとうございます。
1:36:40	資料の振り替え。
1:36:44	はい。
1:36:46	はい。石谷はい、次に調べます。
1:36:49	はい。まず、
1:36:52	審査会合のアイテムをちょっと全体またイトウして、A、
1:36:56	次回以降ですね特に
1:37:00	私が書いてないので、この辺の進め方を整理していくという宿題だったとしてます。はい。サンポ1は別邸も含めて、BBSへの
1:37:13	病院等の部分ですね、最初作業のイメージをちゃんと伝えてみんなで議論するということをやってゴールに向けていければと思います。はい。

1:37:23	あとは代表の方は全体の考え方を整理して、雑誌をして水していければなど最終、グループ1ドイてないようにするというところの整理ができれば、
1:37:35	思います。はい。すいません、最後です。ちょっと途中でごめんなさい。
1:37:38	まず、
1:37:41	代表はその後ろの図でもありましたけど、はい、SAがまだ十分入らない感じの絵になっていて、1回17やった上で入れ込みますっていう感じではあったんですけど。
1:37:57	どんなものって17。
1:38:02	でも入れ込んだ状態で入っていないですもんね。うん。
1:38:05	ちょっとその作業スケジュールを考えますアノ病院等の作業で、資料2の形までいけるよねっていうところのめどをつけながらも、何か悩み事があつたら、18、
1:38:18	出すときますけど、その段階で、
1:38:22	説明、代表選定も同時に多分走らせることができるような気もするので、その状況を踏まえて、18日ナリタ悩みがあれば、お話をするという形にさせていただければと。
1:38:33	思います。それからその中で代表どっかが選ぶつもりかも、何かイメージが使えるれば、
1:38:38	はい、いいと思う。
1:38:39	はい。はい、田崎です。ありがとうございます。というのも、最初の方にも申し上げたように代表選定の議論がまとまらないと資料23Cと全然何ともできないので、
1:38:51	変にステップを踏んでも時間がかかるだけですから、
1:38:57	ある程度全体像がわかるようにしていただいてブラッシュアップ
1:39:01	という形にさせていただければと思います。あとはDBSAの関係は17の資料提示をなしにして、18ページの19での進め方部屋で、
1:39:14	どういう作業状況かというのをしっかりと、
1:39:17	はい。
1:39:18	いうことで、
1:39:19	次お願いします。
1:39:24	えっと、
1:39:25	は、
1:39:29	5ページ以降に、布田猪飼さん。
1:39:32	それぞれコウノとか野瀬グループの関係性は、

1:39:36	ちょっと一対一にうまくってないところの関係性を図り整理するとアトベ相続との関係だったり、整理をしていくということですね、あとグループ跨ってたりして、
1:39:48	ぜひ、対象が抜けてるように見えるところはなぜなのかというところがわかりました。
1:39:54	予算をさせていただこうと思います。はい。
1:39:59	はい。
1:40:01	竹川でございます。ですね今後の対応として①②③③ありますけれども、③について議会の会合でのマスではないんですよ。
1:40:13	②までをきちんと固めることを前提に③の展望もですね、これを念頭に置きながら、適宜、ご説明に含めていくということで、いただいと。
1:40:24	ます。以上でございます。
1:40:29	振り返って絶対何かこうあれば、
1:40:37	はい。
1:40:38	ないようですので、これで本日のヒアリングを終了したいと思います。お疲れ様でした。